
令和 6 年度 第 1 回豊田市上下水道事業審議会 会議録

【日時】 令和 6 年 6 月 2 4 日（月） 午後 1 時 3 0 分～ 2 時 5 0 分

【場所】 豊田市役所 南 5 1 会議室

- 【次第】
- 1 諮問書伝達
 - 2 市長あいさつ
 - 3 審議会委員及び事務局紹介
 - 4 会長あいさつ
 - 5 議事
 - （1）令和 5 年度上下水道事業決算（見込み）報告
 - （2）次期（令和 7 ～ 1 0 年度）下水道使用料のあり方 【資料 1】
 - ・豊田市の下水道事業の概要
 - ・下水道事業会計の仕組み
 - ・令和 7 年度以降の収支の見通し
 - 6 事業管理者あいさつ（上下水道局長代理）

【出席者】 <委員>

竹内	信仁（名古屋大学名誉教授）	※会長
中山	恵子（中京大学経済学部教授）	※副会長
神頭	広好（愛知大学名誉教授）	
松本	嘉孝（豊田工業高等専門学校教授）	
二宮	謙治（豊田信用金庫 常務理事）	
片桐	正博（豊田森林組合代表理事組合長）	
野々山	輝美（あいち豊田農業協同組合女性部部長）	
奥休場	優子（豊田商工会議所女性会会長）	
安井	新弘（豊田市小中学校長会）	
深津	浩彦（豊田市区長会理事）	
山田	雄三（豊田加茂薬剤師会監事）	
西尾	方宏（下山地域会議委員）	
城金	茂樹（公募委員）	
加藤	有花（公募委員）	

<事務局>

前田	雄治（豊田市事業管理者）	
田中	統（上下水道局長）	
杉山	勝浩（上下水道局副局長）	
中川	啓二（上下水道局事業担当専門監）	
小島	弘一（上下水道局総務課長）	
愛知	史康（上下水道局経営管理課長）	
中根	武人（上下水道局企画課長）	
太田	昌男（上下水道局料金課長）	

河合 保幸（上下水道局下水道施設課長）
岡田 政彦（上下水道局下水道建設課長）
古川 真一（上下水道局経営管理課副課長）
池田 浩司（上下水道局経営管理課担当長）
岡野 久（上下水道局経営管理課主査）
【欠席者】＜委員＞ 樹神 康之（豊田商工会議所第一工業部会部会長）
三江 元博（稲武地域会議会長）
増田 比呂子（足助地域会議委員）
【傍聴者】 なし

【議事等の摘要】

1 諮問書伝達

2 市長あいさつ

- ・本市の下水道事業は令和7年度の面整備完了を契機に、事業拡大期から維持更新機への転換点を迎え、将来の施設老朽化への備えも必要となっております。
- ・一方で、人口減少による水需要の減少、施設の更新や自然災害への対応に加え、経営面では、物価高騰の影響を受けるなど取り巻く環境が変化しております。
- ・このような状況で将来を見通した経営基盤の強化が必要であることから、安定的な下水道サービスを提供し続けるための下水道使用料になる形について、今回、委員の皆様様の積極的な議論をお願い申し上げます。
- ・これまで、下水道使用料をはじめ、公共料金の値上げを抑制する手立てを打ってきましたが、昨今の原材料費や人件費の高騰などの状況から考えると、公共料金への転嫁もやむを得ないという状況も踏まえ、審議いただきたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

3 審議会委員及び事務局紹介

- ・審議会名簿、上下水道局の組織図で紹介

4 会長あいさつ

- ・本日は、大変お忙しい中、御出席をいただきありがとうございます。
- ・特に人口が激しく減少していくような地域については、上下水道、どうやったら維持できるかっていうことが一番の問題になっておりますので、ここでは、4年に一度の下水道使用料の見直しですけれども、その先を見据えた審議をお願いします。

5 議事

（1）令和5年度上下水道事業決算（見込み）報告

○事務局

- ・資料について説明

○A委員

- ・流域下水道維持管理費負担金の返還は定期的にあるのか。

○事務局

- ・3年に一度、精算することとなっている。

○B 委員

- ・流域下水道維持管理費負担金の値上げの理由と程度を確認したい。
- ・今後、流域下水道維持管理費負担金はどのように見込んでいるか。

○事務局

- ・物価高騰を理由に、矢作川流域の維持管理単価が 6.7 円、境川流域の維持管理単価が 5.5 円値上がった。
- ・令和 7 年度以降、おおむね 3 年に 1 度の見直しで、1 円ずつ値上がっていく想定をしている。

(2) 次期（令和 7 ～ 10 年度）下水道使用料のあり方

○事務局

- ・資料 1 を説明

○A 委員

- ・流域下水道への接続予定地域における 1 立方メートル当たりの汚水処理単価と流域下水道における 1 立方メートル当たりの汚水処理単価を比較したい。
- ・資本的収支の見通しに心配がないのであれば、収益的収支の資金不足の程度によって、下水道使用料を見直す必要がない場合もあるのではないか。

○C 委員

- ・事業計画や収支計画における額の増減理由や根拠を示していただきたい。

○事務局

- ・次回の審議会でお示しする。

○D 委員

- ・今後の投資として、老朽管路の改築を上げているが、これによって、耐震化が図られ、耐震強度が上がるのか。

○事務局

- ・耐震強度は向上する。

○C 委員

- ・国の方針が示されているなかで、豊田市としてはどこを目指す計画か。

○事務局

- ・国庫補助金の重点配分となっていることから、経費回収率 80 % 以上を目指すことは、目標の一つであると考えている。

○E 委員

- ・使用料収入は、豊田市内企業の雇用動向などにも左右されるので、ある程度、使用料収入の変動要因として触れておく必要がある。

○B 委員

- ・収支不足が発生する状況から、経営が厳しいと理解した。これまでと同じように維持管理する計画から、プライオリティーを作るとか、人口減少の部分はどうするか、地域差もあると思うが、事業を見直す方向での議論も必要ではないか。

○F 委員

- ・ダウンサイジングなど将来の適正な事業規模を検討しておく必要がある。

6 上下水道局長あいさつ

- ・本市の下水道事業は事業拡大から維持更新へ転換期を迎え、今後は老朽化対策や災害への備えが重要になってまいります。また物価高騰など下水道事業取り巻く環境は大きく変化している状況です。
- ・令和6年度は4年に一度の下水道使用料の見直しの時期であり、今回は下水道事業の概要や今後の収支見通しなどを審議いただきました。
- ・生活になくてはならない下水道を今後も安定して利用していただくため、活発な議論をよろしくお願いします。

午後2時50分終了